

野菜茶業研究所跡地に 「武豊中央公園」を整備します

▶ 問合せ 役場都市計画課

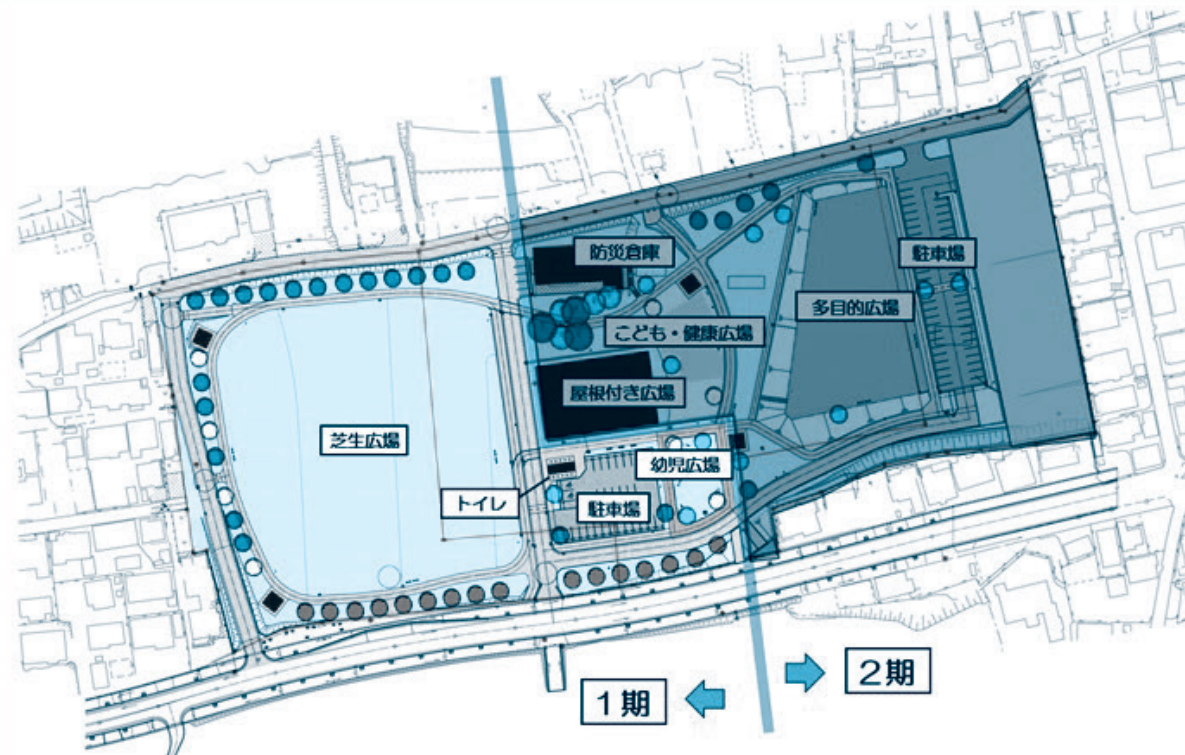
町では、26年度末に閉鎖した野菜茶業研究所の跡地を利用し、大規模地震に備えた防災力の向上を図るとともに、子どもや高齢者をはじめ誰もが安全で安心して利用できる公園を整備します。

27年度より公園用地を段階的に取得しています。30年に実施したパブリックコメント等の意見を考慮し、公園の設計を行いました。

これまでは「野菜茶業研究所跡地公園」としてきましたが、「武豊中央公園」として今年度から整備工事に着手し、次年度の供用開始（第1期部分）に向け事業を進めていきます。

今回は、主な整備内容と今後の行程の概要をお知らせします。

公園位置図



おもな施設(第1期・2期全体)

■公園施設

・芝生広場、多目的広場、幼児広場、こども・健康広場(遊具・健康遊具を設置)、ランニング・ウォーキングコース、トイレ、駐車場 等

■災害時にも活用できる施設

・マンホールトイレ、かまどベンチ、ソーラー照明、屋根付き広場、休憩舎(防災モデル)、防災倉庫、防火樹林 等

※公園の施設の内容については、変更する場合があります

公園の整備方針

- ① 地域住民の住環境向上をめざして、遊戯・軽運動・修景・休憩・災害避難のできる空間整備
高台の緩傾斜地形を活かして遊戯施設・休憩施設を配置します。
- ② 災害発生時の一次避難場所としての役割
避難場所として必須となる「避難に適した入口、広場、非常用照明設備」を整備します。
また「防火機能を持った植栽、非常用トイレ、標識、情報提供施設」を導入します。
- ③ 高台の眺望景観と既存施設・既存樹を活かした公園整備
既存倉庫を改修して防災および公園管理の面で活用し、既存樹を保全して景観形成を図ります。
- ④ 狭あい道路の解消等道路環境の改善
避難時、平常時の双方でアクセス機能を向上させるため、狭あい道路を解消し、公園周回道路を整備します。

事業概要

公園位置 武豊町字中根地内

公園面積 約3.4ha

事業期間 29年度～37年度

第1期 西側約1.7ha 29年度～31年度

第2期 東側約1.7ha 32年度～37年度

※第2期の期間については状況により完了が前倒しされる場合があります

基本方針

「地域の人々が憩い、防災機能を備えた安全・安心な公園」

平常時は憩いやレクリエーションの場として、災害時は避難場所や救援拠点、物資輸送の中継点として機能します。